0612873HE2806

# MITSUBISHI

## 三菱電機フリープランシステム

# 外気処理ユニット〈床置ビルトイン形ロスナイ加熱加湿付直膨タイプ〉

# 取扱説明書

お客さま用

## 形　名

R407C対応

LB-100DF3-50（単相200V 50Hz）
LB-100DF3-60（単相200V 60Hz）
LB-150DF3-50（三相200V 50Hz）
LB-150DF3-60（三相200V 60Hz）
LB-200DF3-50（三相200V 50Hz）
LB-200DF3-60（三相200V 60Hz）

R407C・R410A対応

LB-100DF4-50（単相200V 50Hz）
LB-100DF4-60（単相200V 60Hz）
LB-150DF4-50（三相200V 50Hz）
LB-150DF4-60（三相200V 60Hz）
LB-200DF4-50（三相200V 50Hz）
LB-200DF4-60（三相200V 60Hz）

## もくじ

ページ



★ご使用の前に「安全のために必ず守ること」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
★お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに大切に保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

# 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

**⚠警告** 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

| | |
|---|---|
| <br>禁　止 | **●可燃性ガスが漏れた場合は外気処理ユニットのスイッチを入･切しない**<br>（電気接点の火花により爆発する原因になります）<br>**窓を開けて換気する** |
| <br>分解禁止 | **●改造や必要以上の分解はしない**<br>（火災・感電・けがの原因となります） |
| <br>水ぬれ禁止 | **●製品を水につけたり、水をかけたりしない**<br>（火災や感電のおそれがあります） |
| 指示に従い必ず行う | **●指定の電源を使用する**<br>（間違った電源を使用すると火災や感電の原因になります）<br>**●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る**<br>（通電状態では感電やけがをすることがあります）<br>**●異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」に相談する**<br>（異常のまま運転を続けると故障や感電･火災等の原因になります）<br>**●凍結のおそれのある地域では、必ず凍結防止工事を行う**<br>（電磁弁・配管などが破損し、水漏れの原因になります） |

**⚠注意** 誤った取扱いをしたとき、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

| | |
|---|---|
| <br>禁　止 | **●外気処理ユニットの風が直接あたるところに燃焼機器を置かない**<br>（不完全燃焼による事故の原因になることがあります）<br>**●冬期、室内を暖房しているとき、「普通換気」で運転しない**<br>（本体から結露水が天井面に滴下して、天井面を汚すおそれがあります）<br>**●高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には使用しない**<br>（火災のおそれがあります）<br>**●機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には使用しない**<br>（故障の原因になります） |
| <br>指示に従い必ず行う | **●お手入れ後の部品の取付けは確実に行う**<br>（落下によりけがをすることがあります）<br>**●お手入れの際は手袋を着用する**<br>（着用しないとけがの原因になります）<br>**●長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る**<br>（絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります） |

# 特　長

**最近のオフィス等は気密性が良く、冷暖房効果やしゃ音効果が高い反面、換気不足による室内空気の汚染・結露の発生により健康を損なう心配があります。**

**そこで外気処理ユニットによる換気が必要になります**

外気処理ユニットは…………きれいな空気を室温に近づけながら室内に給気するとともに、汚れた空気を室外に排気します

## 主な特長



**1** ロスナイエレメントの働きで
**快　適　温　度**

ロスナイエレメントの働きにより外気を室温に近づけて給気しますので、暖かさ・涼しさを保ちながら換気します。

**2** 強制同時給排なので
**新　鮮　空　気**

強制同時給排機能によって、きれいな外気を取り入れながら汚れた空気を排気します。だから室内の空気は新鮮です。

**3** 透湿膜式加湿エレメントによる
**クリーンな加湿**

透湿膜式加湿エレメントを採用。水蒸気だけを透過させ白粉のないクリーンな加湿を実現します。

**4** センサーによる
**換気モード自動切換**

換気モードは「ロスナイ換気」・「普通換気」があり、センサーが室内外の温度を検知して自動的に選択します。ロスナイリモコンでは手動で切り換えることができます。

**5** 寒冷地仕様による
**寒冷地の運転モード**

エレメントの結露防止のため、外気温が約−10℃以下になると給気側送風機が「60分間運転→10分間停止」を繰り返します。

**6** 特殊構造により
**防　音　効　果**

室外騒音の侵入を防ぎ、室内騒音の音もれを抑えます。

**7** 熱ロスが少ないから
**省　エ　ネ**

室内の暖かさ・涼しさを保ちながら換気ができるので、冷暖房時の熱ロスが少なく冷暖房費も節約できます。

**8** 柱と柱の間に納まる
**省スペース**

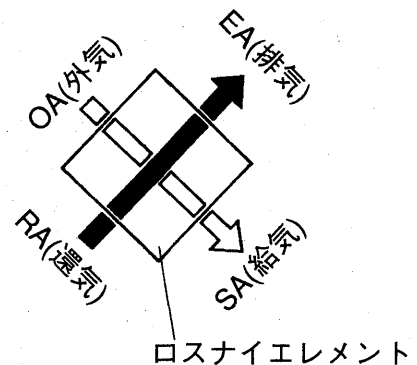
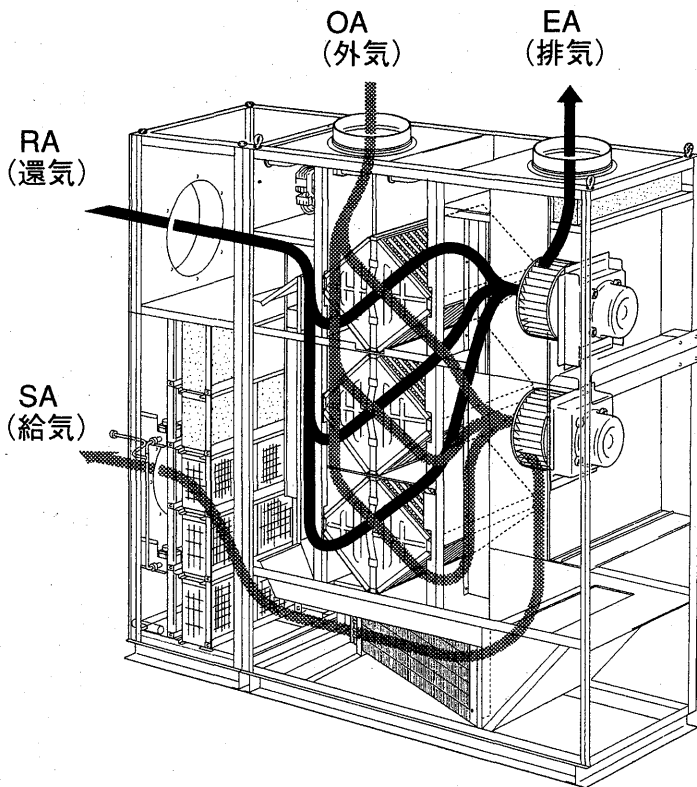
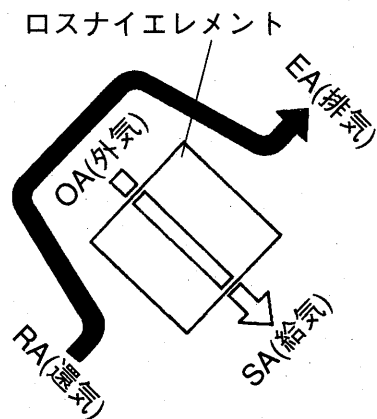
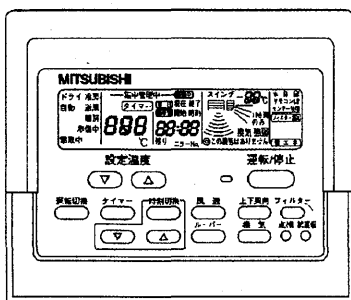
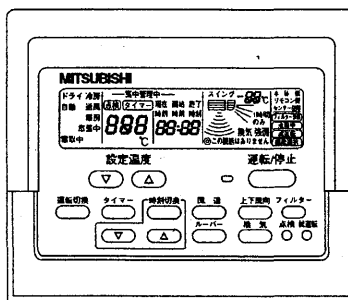
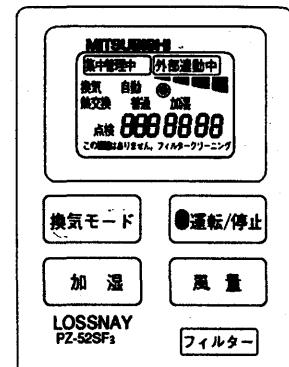
柱と柱の空間に納まる省スペース床置形ですので、機械室の設置や天井裏の施工が不要です。

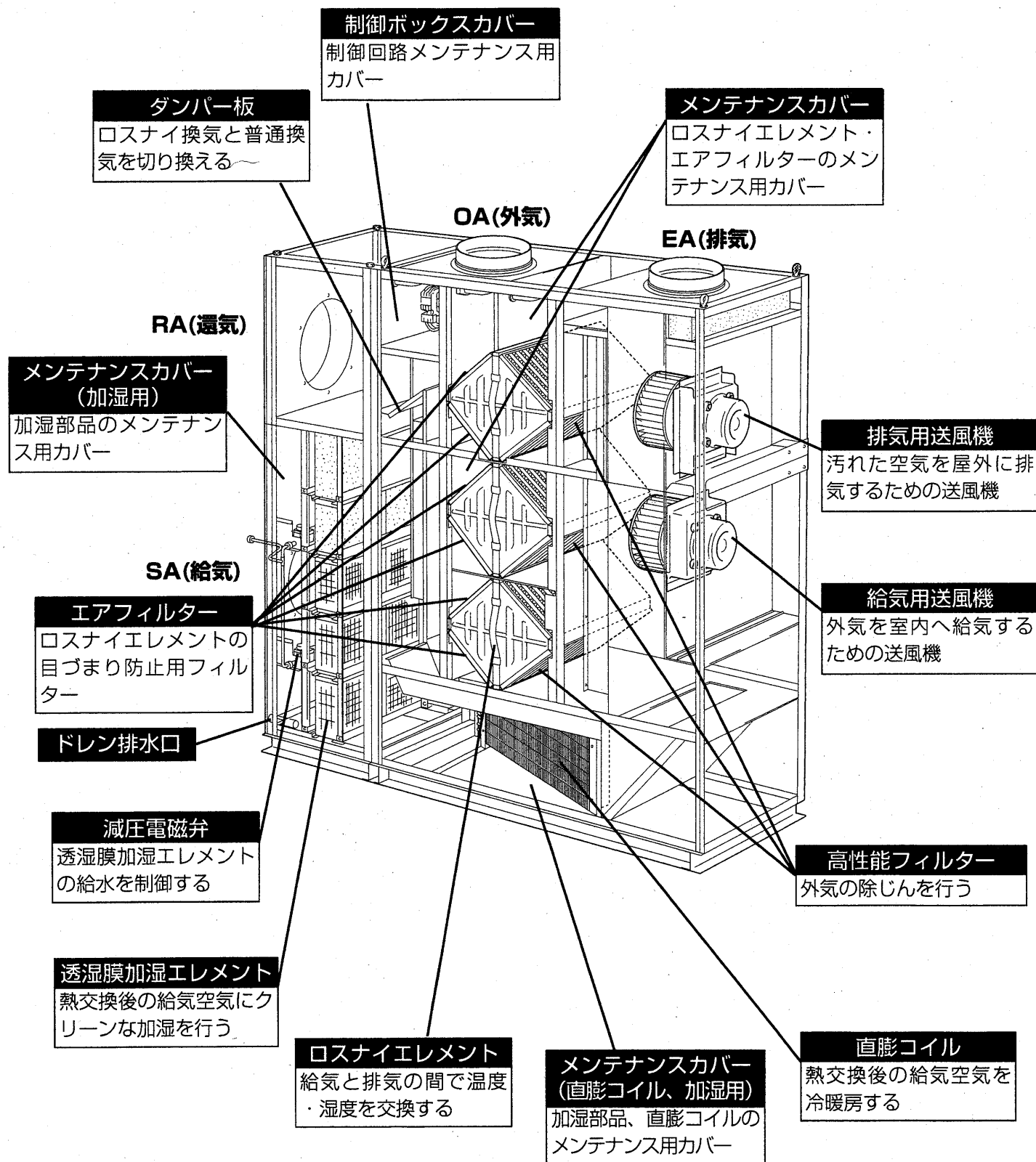
**9** 前面一方向から
**簡単メンテナンス**

前面のメンテナンスカバーより清掃ができるため一方向からのメンテナンスができます。

# 特長　つづき

## 「ロスナイ換気」と「普通換気」とは

● **「ロスナイ換気」とは……**
室内空気をロスナイエレメントを通して室外に排気します。熱交換された外気が室内に供給されます。
冷暖房をしている夏・冬には「ロスナイ換気」で運転します。

● **「普通換気」とは……**
室内の汚れた空気をロスナイエレメントを通さずそのまま排気します。熱交換を必要としない春・秋には「普通換気」で運転します。

## 使用するリモコンスイッチ

| MEリモコン：PAR-F27ME | MAリモコン：PAR-20MA | ロスナイリモコン：PZ-52SF3 |
|---|---|---|

# 各部のなまえとはたらき

※図はLB-150DF3-50を示す。

# 使いかた

**この製品は三菱電機フリープランシステムに組込まれて使用するものです。**
**運転については、空調機に連動して空調機の操作により行います。**
**加湿器の運転は空調機からの暖房信号により行われます。**

●暖房時、製品本体の結露防止のため「ロスナイ換気」で運転してください。なお、外気が8℃以下で自動的に「ロスナイ換気」となります。

**空調機または外部機器と連動運転をする場合や連動しない場合により、使いかたが異なりますので、下表に従って該当する操作を行ってください。**

メモ

●ロスナイリモコン(PZ-52SF$_3$等)をご使用の場合は、ロスナイリモコンの取付・取扱説明書も合わせてご覧ください。

## 〈空調機または外部機器と連動しない場合〉

| システム例 | 操 作 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 外気処理ユニット<br>ロスナイリモコン<br>MEリモコン<br>MAリモコン<br>電源<br>※リモコンはシステム部材 | リモコンで運転させます。 | ●2リモコン運転の場合、後押優先となります。 |

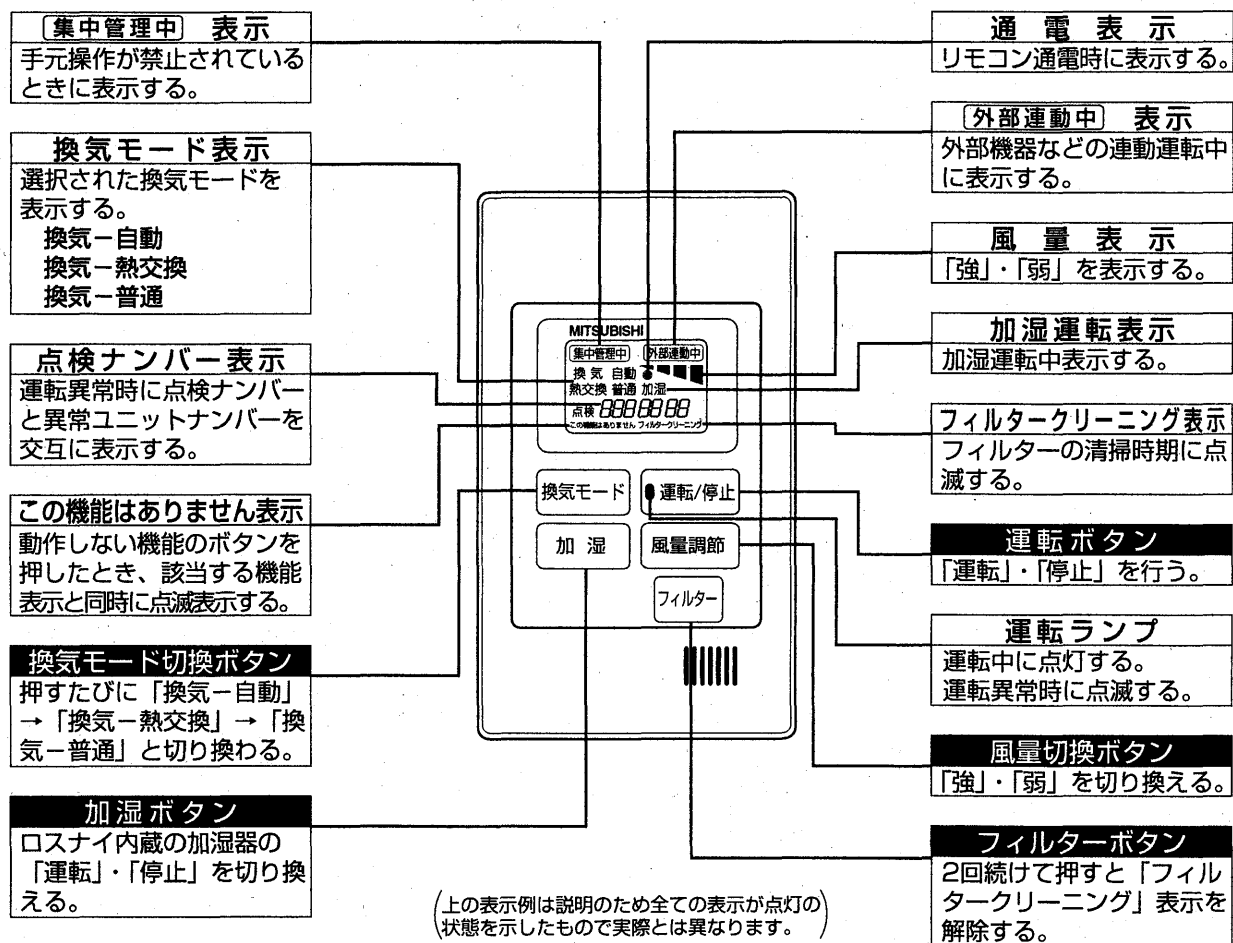
## 〈空調機と連動する場合〉

| システム例 | 操 作 | 機能説明 |
|---|---|---|
|  | 空調機用リモコンで「運転」または「停止」させますと自動的に外気処理ユニットも「運転」または「停止」します。 | ●空調機用リモコンで外気処理ユニット単独の運転／停止、風量の強／弱切り換えができます。(MEリモコン使用時)<br>※150・200タイプは「強」固定。<br>●換気モードは「換気モード自動切換」になります。<br>●外気処理ユニットの運転モードは運転している室内機と同じモード（暖房、冷房、送風）で運転します。また連動している室内機が複数で、それぞれ運転モードが違う場合は、暖房>冷房>送風の優先度で運転モードが決まります。 |

**お願い**

**●加湿シーズン終了後、および加湿シーズン以外で、試運転や立会検査実施後は、給水バルブまたはサービス弁を閉止し、加湿器の乾燥運転を行ってください。また、加湿シーズン中においても長期間(2～3週間以上)運転しない場合には、加湿器の乾燥運転を行ってください。**
**加湿器の乾燥運転は、加湿「切」、「ロスナイ換気」、「強」ノッチ運転で累計24時間以上運転してください。乾燥運転を行わないと残留水が腐敗し、異臭を生じることがあります。**
**●異臭の発生した加湿エレメントは交換が必要になります。**

# =リモコンスイッチ（PZ-52SF3）を使用する場合=

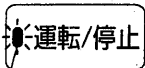
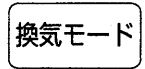
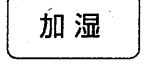
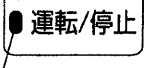
（上の表示例は説明のため全ての表示が点灯の状態を示したもので実際とは異なります。）



**メモ**

●停電復帰後や再度分電盤のブレーカーが入ったときに、換気モードは前のモードと同一になります。
●冷房運転はできません。

**お願い**

**●MEリモコンあるいは、MAリモコンによる空調機と連動設定されている外気処理ユニットには、本リモコンは使用できません。（連動設定機の併用禁止）**

# 使いかた　　つづき

## ロスナイリモコン使用の場合　つづき

### 〈最初の運転〉

| 操作項目 | 操作部 | 表示部 | 手順 |
|---|---|---|---|
| 電源の供給 | ブレーカー「ON」 |  | 電源を供給すると「HO」が最大10分間点滅する<br>ダンパーが位置検出のため動作する |

### 〈通常の運転〉

| 操作項目 | 操作部 | 表示部 | 手順 |
|---|---|---|---|
| 1. 運転開始 | 運転/停止<br>運転ランプ | | **運転ボタンを押す**（運転ランプ点灯）<br>●リモコンの表示が何もされない場合は、給電ユニットが接続されているか確認する<br>●「HO」表示がでるときは、グループ登録されているか確認する |
| 2. 換気モードの設定 | 換気モード | 換気　自動<br>熱交換　普通 | **1.換気モード切換ボタンを押すたびに**<br>（「換気熱交換」固定→「換気普通」固定→「換気自動」→「換気熱交換」固定と切り換わる）<br>**2.ロスナイ本体内のダンパーが切り換わるか確認する**<br>**3.メンテナンスカバーを開け、ダンパーの動作を確認する**<br>●外気温度が8℃以下のときは、「換気普通」に切り換わりません。 |
| 3. 風量切換<br>〔150･200タイプは切り換えできません〕 | 風量調節 | | **風量切換ボタンを押す**<br>**「強」または「弱」を選ぶ**<br>**弱の場合**<br>**強の場合** |
| 4. 加湿の入/切 | 加湿 | 換気　自動<br>熱交換　普通　加湿 | **加湿ボタンを押す**<br>表示部に「加湿」が表示され、加湿を開始する<br>再度加湿ボタンを押すと「切」になり、表示が消灯する |
| 5. 運転停止 | 運転/停止<br>運転ランプ | | **運転ボタンを押す**<br>(運転ランプ消灯、通電表示のみ) |

# MEリモコン・MAリモコン使用の場合

## ■MEリモコン

表 示 部

- 説明のためすべての表示内容を示しています。
- 停止中は◉表示、運転中は運転ランプ、◉表示、設定温度、風速、風向、室温などが表示されます。（◉:通電中を示す）

設定温度ボタン

△ 上げる ▽ 下げる

運転切換ボタン

タイマーボタン

時刻切換ボタン

△ 進める ▽ 戻す

とびらを開ける

操 作 部

運転/停止ランプ

運転/停止ボタン

風速ボタン

（LB-150・200タイプには この機能はありません）

フィルターボタン

（フィルターリセット）

点検ボタン

試運転ボタン

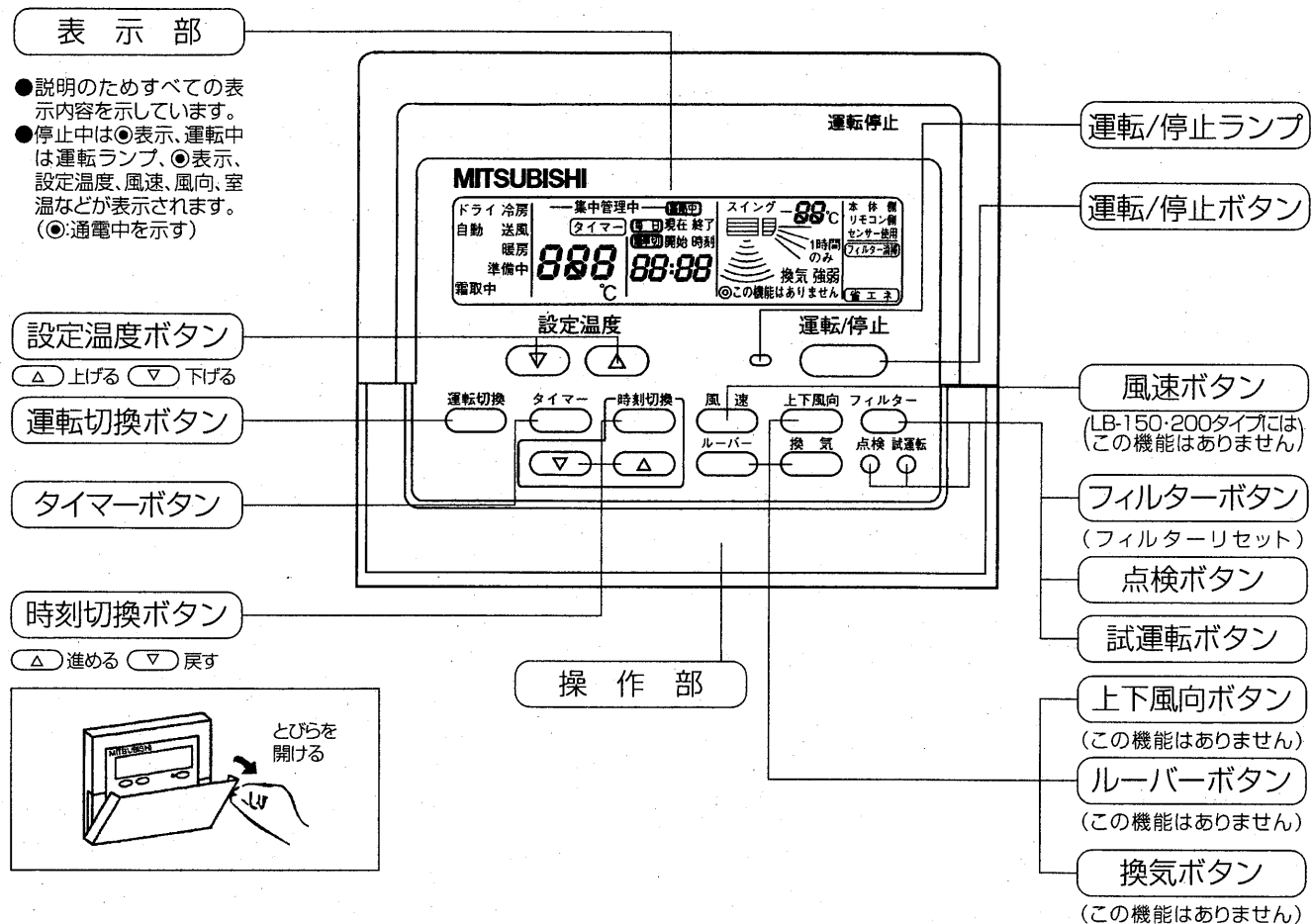
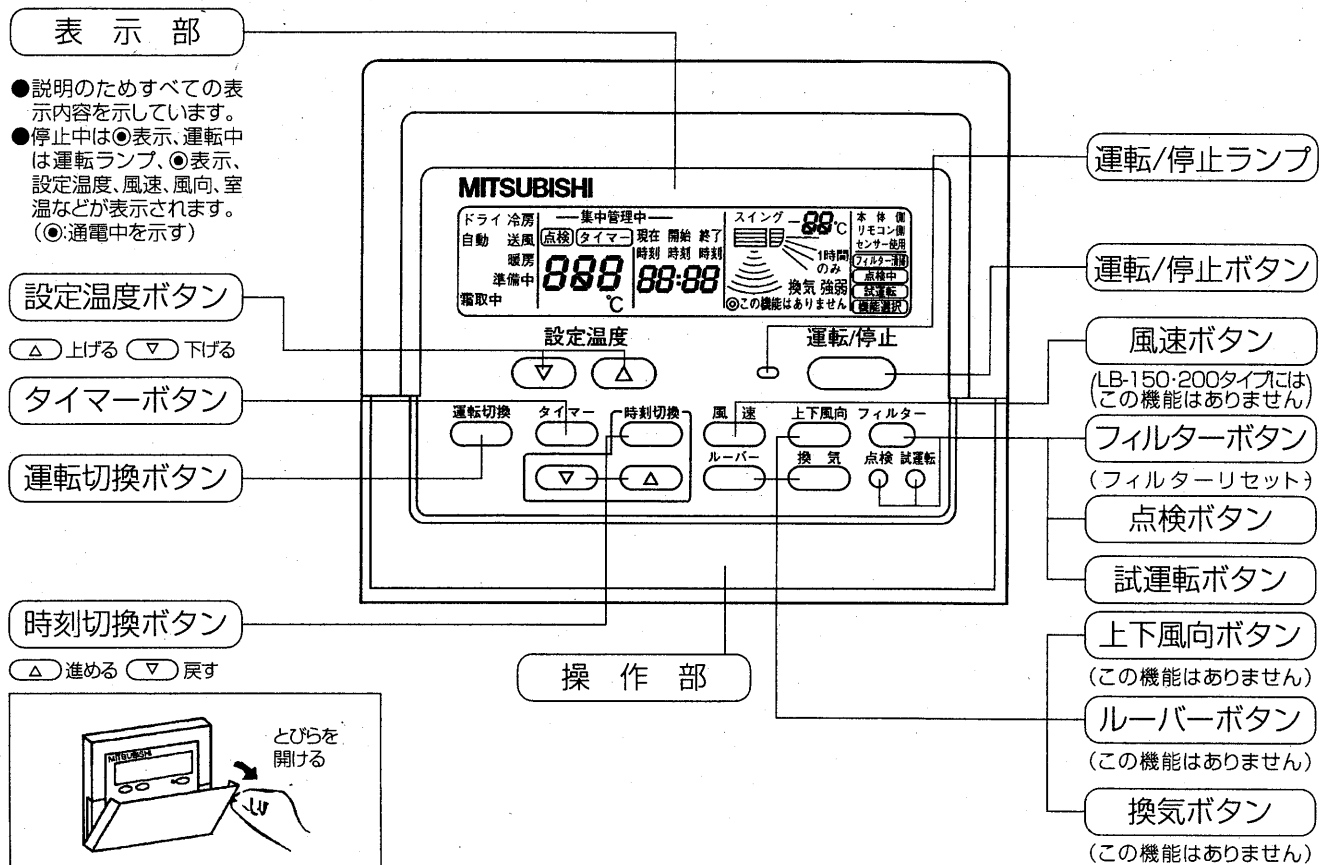
上下風向ボタン

（この機能はありません）

ルーバーボタン

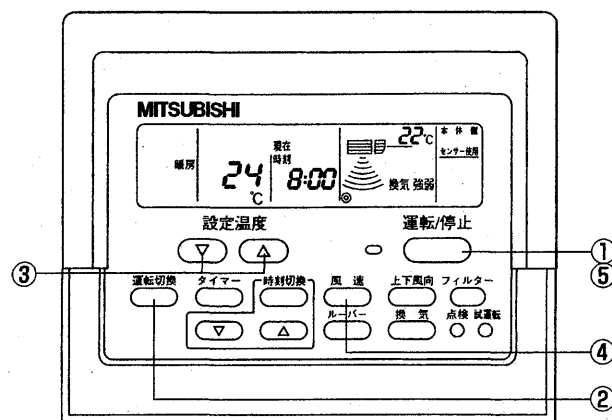
（この機能はありません）

換気ボタン

（この機能はありません）

## ■MAリモコン

使いかた

# 使いかた　　つづき

## MEリモコン・MAリモコン使用の場合　つづき

※図はMAリモコンを示す

### 〈最初の運転〉

運転開始の前に‥‥電源が入っているか確認する
停電や電気工事または外気温度が10℃以下で1日電源を切って放置した場合は電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。

### 〈通常の運転〉

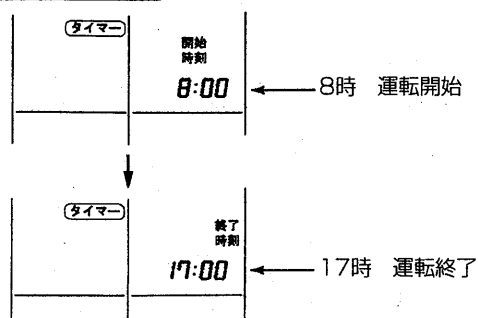
| 操作項目 | 操作部 | 手順 |
|---|---|---|
| ①運転開始 | 運転/停止 | **運転／停止ボタンを押す（運転／停止ランプと表示が点灯）** |
| ②運転モードの設定 | 運転切換 | **運転切換ボタンを押す**<br>●1回押すごとに設定が切り換わります。<br>→冷房→送風→自動※1→暖房※1→（冷房へ戻る）<br>※1 室外ユニットの機種により、自動・暖房機能がない場合があります。 |
| ③設定温度の変更 | 設定温度 ▽ △ | **■設定温度を下げたいとき… ▽ 設定温度ボタンを押す**<br>**■設定温度を上げたいとき… △ 設定温度ボタンを押す**<br>●1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。<br>●室内機の設定温度に合わせてください。 |
| ④風速切換<br>（150·200タイプは切り換えできません（強）のみ） | 風速 | **風速ボタンを押す**<br>●1回押すごとに以下のように設定が切り換わります<br>形名：LB-100タイプ／風速：2段階／リモコン表示：（弱）→（強）→（弱へ戻る）<br>**お知らせ**<br>●下記の場合は、液晶表示とユニットの風速が異なります。<br>1.“霜取中”表示のとき<br>2. 暖房運転直後（モード切換待機中） |
| ⑤運転停止 | 運転/停止 | **運転／停止ボタンを押す**（運転／停止ランプ消灯、通電表示のみ）<br>※運転停止後5分以上待ってから電源を切る |

## 〈MAリモコンの場合のタイマー運転〉

**タイマー設定表示例**

タイマー　開始時刻　8:00 ←8時　運転開始

↓

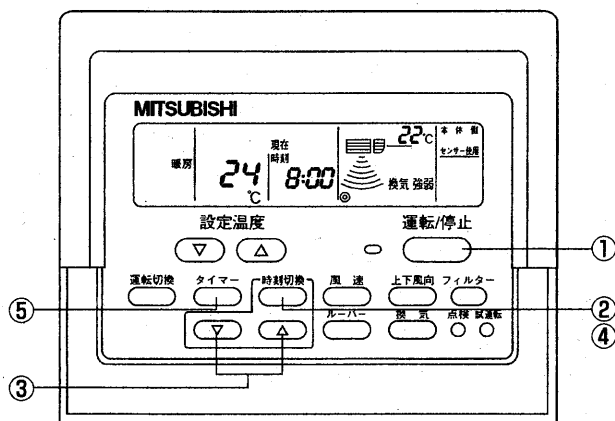
タイマー　終了時刻　17:00 ←17時　運転終了

※MEリモコン：PAR-F27MEのタイマー運転の操作手順はMEリモコンの取扱説明書を参照してください。

■タイマー運転には次の3つの方法があります。

1. 入タイマー運転　運転の開始のみをタイマーで行う
2. 切タイマー運転　運転の停止のみをタイマーで行う
3. 入・切タイマー運転　運転・停止の両方をタイマーで行う

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。

■タイマー運転中の（タイマーの表示かされているとき）は時刻設定・変更はできません。

■タイマー時刻設定は10分単位です。

※図はMAリモコンを示す

## ①運転／停止ボタンを押す

## ■現在時刻合わせ

| 操作項目 | 操作部 | 手　順 |
|---|---|---|
| ②現在時刻を表示 | 時刻切換 | **時刻切換ボタンを押し、表示を「現在時刻」にする**<br>●1回押すごとに以下のように切り換わります。<br>現在時刻 → 開始時刻 → 終了時刻 → 表示なし（→現在時刻に戻る） |
| ③時刻設定 | ▽　△ | **△ボタンを1回押すごとに1分進み、▽ボタンを1回押すごとに1分戻る**<br>●ボタンを押し続けると早送り（早戻し）になります。<br>●時刻は1分単位→10分単位→時間単位の順に変化します。<br>●設定終了後約10秒でリモコンの表示は消えます。 |

使いかた

# 使いかた　　つづき

## ■入タイマー運転のしかた

| 操作項目 | 操作部 | 手　順 |
|---|---|---|
| ②開始時刻を表示 | 時刻切換 | 時刻切換ボタンを押し、現在時刻を確認して表示を「開始時刻」にする |
| ③時刻設定を「現在時刻合わせ」を参考に行う（11ページ） | | |
| ④終了時刻の設定 | 時刻切換 | 時刻切換ボタンを押し、表示を「終了時刻」にする<br>--:-- の表示に設定する<br>● --:-- の表示は23：50と0：00の間に表示されます。 |
| ⑤タイマーを表示 | タイマー | タイマーボタンを押し、表示を「タイマー」にする<br>●1回押すごとに消灯⇄「タイマー」に切り換わります。 |

## ■切タイマー運転のしかた

| 操作項目 | 操作部 | 手　順 |
|---|---|---|
| ②終了時刻を表示 | 時刻切換 | 時刻切換ボタンを押し、現在時刻を確認して表示を「終了時刻」にする |
| ③時刻設定を「現在時刻合わせ」を参考に行う（11ページ） | | |
| ④開始時刻の設定 | 時刻切換 | 時刻切換ボタンを押し、表示を「開始時刻」にする<br>--:-- の表示に設定する<br>● --:-- の表示は23：50と0：00の間に表示されます。 |
| ⑤タイマーを表示 | タイマー | タイマーボタンを押し、表示を「タイマー」にする<br>●1回押すごとに消灯⇄「タイマー」に切り換わります。 |

## ■ 入・切タイマー運転のしかた

1.入タイマー・切タイマー両方の設定をする
2.タイマーボタンを押し、表示を「タイマー」にする

## ■ タイマー運転を解除するとき

●タイマーボタンを押して、表示を「タイマー」⇄消灯にする

お知らせ

●タイマー運転が終了して外気処理ユニットが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

# お手入れ

**外気処理ユニットの機能低下を防ぐため、エアフィルター・ロスナイエレメントに付着したごみ・ほこりを定期的に清掃してください。**

**高性能フィルターは清掃できませんので交換してください。**

**エアフィルター清掃目安………1年に1回以上(運転時間約3000時間)**
**(ロスナイリモコンスイッチの「フィルタークリーニング」表示が点滅したとき)**
**ロスナイエレメント清掃目安…2年に1回以上(運転時間約6000時間)**
**(汚れの程度に応じて清掃回数は増やしてください)**
**高性能フィルター交換目安……1年に1回以上(運転時間約3000時間)**

※ネットワークリモコンまたはユニットリモコンにて高性能フィルターの交換時期をフィルター表示を点滅させてお知らせします。交換後フィルターボタンを2回押してリセットしてください。

**⚠警告**

**●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る**
(通電状態では感電やけがをすることがあります)

**⚠注意**

**●お手入れの際は手袋を着用する**
(着用しないとけがの原因になります)
**●お手入れ後の部品の取付けは確実に行う**
(落下によりけがをすることがあります)

## 1 脚立の用意

●脚立を用意する。

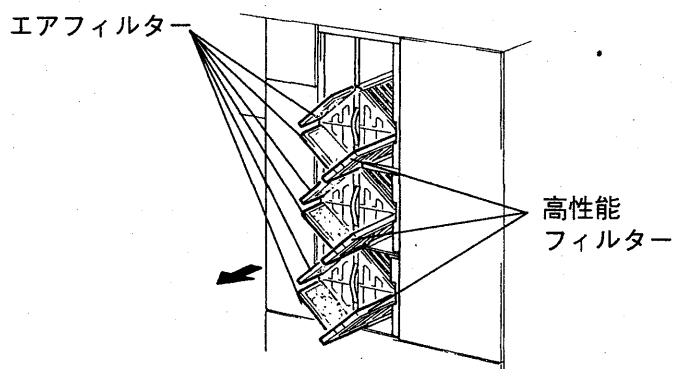
**お願い**

**● 足元が不安定な状態で部品の着脱を行わないでください。**

## 2 メンテナンスカバーをはずす

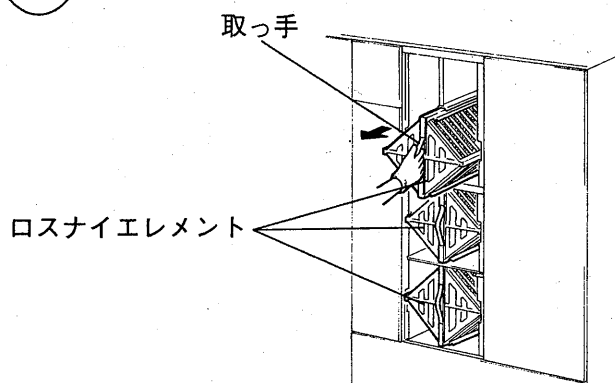
※図はLB-100DF3-50を示す

1. ツマミネジをゆるめる。
2. メンテナンスカバーを、上に持ち上げてはずす。

## 3 エアフィルター・高性能フィルターを引き出す

| 形　名 | エアフィルター枚数 | 高性能フィルター枚数 |
|---|---|---|
| LB-100・150タイプ | 6 | 3 |
| LB-200タイプ | 8 | 4 |

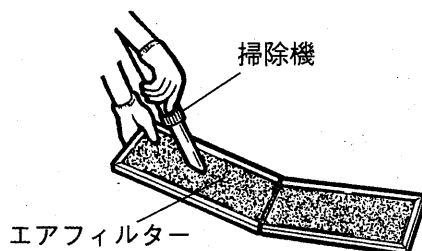
● エアフィルターはロスナイエレメント左側上下に各1枚ずつ入っています。

● 高性能フィルターはロスナイエレメントの右下側に1枚ずつ入っています。

# お手入れ　つづき

## ロスナイエレメントを引き出す

●取っ手を持ち、本体から引き出す。
（ロスナイエレメントの数は機種により異なります）

LB-100タイプ　……3個
LB-150タイプ　……3個
LB-200タイプ　……4個

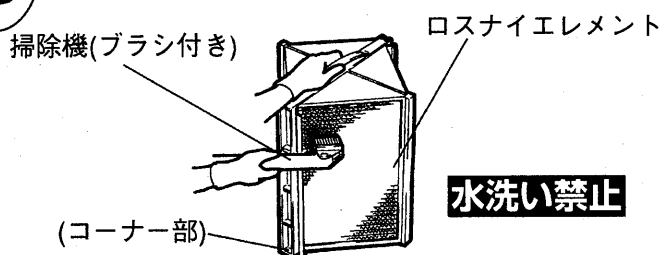
## エアフィルターの清掃

1. 掃除機でほこりを吸い取る。
2. 汚れのひどい場合は、水または、ぬるま湯（40℃以下）に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。

**メモ**

● 交換用のエアフィルターがシステム部材として、用意されていますので古くなったエアフィルターは交換してください。

**お願い**

**●熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。**
**●直接火にあてて乾かすことはしないでください。**
**●エアフィルターを出し入れするときはロスナイエレメントの表面を傷つけないようていねいに扱ってください。**
**●エアフィルターは表示の向きに従って取付けてください。**

## 6 ロスナイエレメントの清掃

●掃除機で表面のごみ·ほこりを吸い取る。
（掃除機のノズルは、ブラシ付きのものを使用し、ブラシを軽くあてて清掃します）

**お願い**

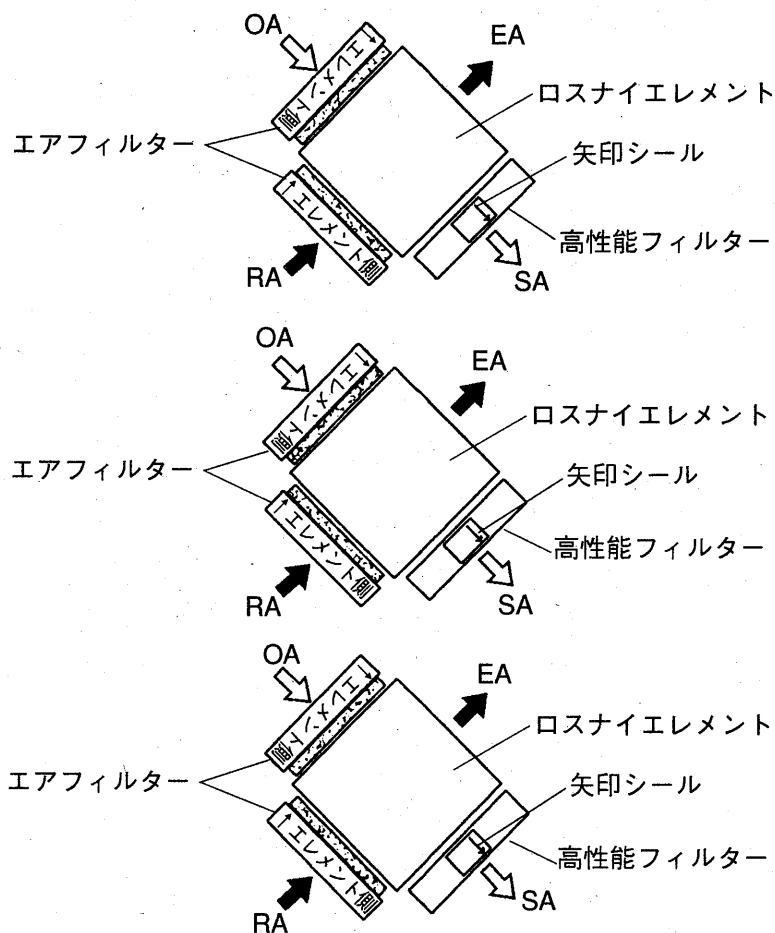
**●掃除機のかたいノズルをあてないでください。ロスナイエレメントの表面が傷つきます。**
**●ロスナイエレメントは、絶対に水洗いしないでください。**

## 高性能フィルターの交換

**システム部材の高性能フィルターを購入のうえ取付けてください。**

| 形　名 | 高性能フィルター形名 |
|---|---|
| LB-100タイプ、LB-150タイプ | PZ-100RFM（2セット必要、1枚予備となります） |
| LB-200タイプ | PZ-100RFM（2セット必要） |

## お手入れ後の組立て

### フィルター取付位置

●取りはずしと逆の順序で取付ける。

> エアフィルターは左図に示す位置に取付けてください
> ↑エレメント側 の表示をロスナイエレメント側にします

**● 高性能フィルターはロスナイエレメント右下側に矢印シールが手前になるよう（矢印の向きが右下側）取付ける。**

**●リモコンを使用の場合は清掃終了後、フィルターリセットスイッチを押してください。（2回続けて押す）**

**お願い**

**●エアフィルターを入れ忘れないようにしてください。入れ忘れますとロスナイエレメントにごみが詰まり、機能低下の原因になります。**

# 保守点検

## ⚠警告

●**保守点検の際は必ず分電盤のブレーカーを切る**
(通電状態では感電やけがをすることがあります)

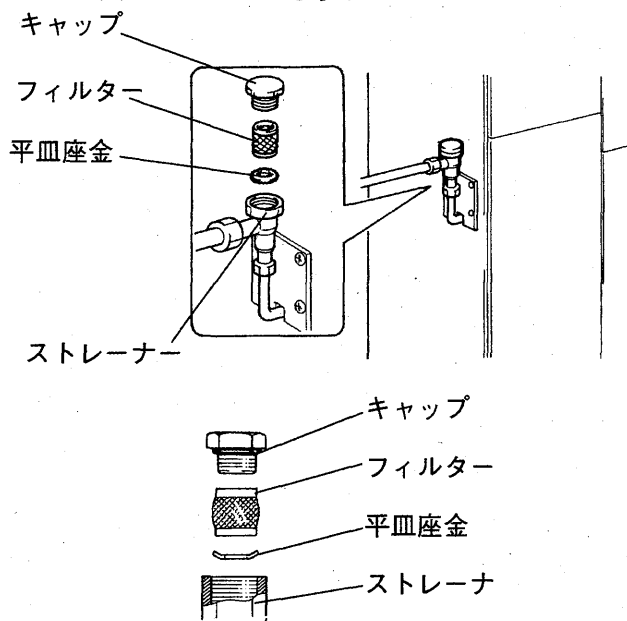
## ⚠注意

●**保守点検の際は手袋を着用する**
(着用しないとけがの原因になります)
●**保守点検後の部品の取付けは確実に行う**
(落下によりけがをすることがあります)

| 点検部品 | 保守点検内容 | | 保守を怠った場合 |
|---|---|---|---|
| | 点検項目 | 処置方法 | |
| ストレーナ | ごみによる目づまりの点検 | 目づまりが生じている場合は洗浄 | 加湿不能 |
| | Oリング亀裂の点検 | 亀裂が生じている場合は交換 ※注1 | 水漏れ |
| 加湿エレメント | 加湿エレメント表面からの漏水点検 | 加湿エレメント表面から水が吹き出す場合は交換 ※注2 | 水漏れ |
| | ごみによる目づまりの点検 | 目づまりが生じている場合は掃除機にて傷つけないよう清掃または水洗い | 風量低下<br>加湿能力低下 |

※注1……交換用Oリング：市販品P22-1A
※注2……結露等により少量の水が出る場合がありますが異常ではありません。

## ストレーナの清掃のしかた

※図はLB-150DF3を示す

1. サービス弁を閉じる。
   (残留水の飛散防止のため)
2. ストレーナのキャップをスパナ(工具)などではずす。
3. フィルターをはずして、内側に付着した汚れを水で洗い落とす。
4. 取りはずしと逆の順序で、平皿座金・フィルター・キャップを取付ける。
5. サービス弁を開く。

**お願い**

● **キャップは、水漏れしないよう確実に締め付けてください。**

**平皿座金の方向性**

図のように平皿座金のへこんだ側がフィルター側になるよう取付けてください。

## 加湿エレメントの目視点検

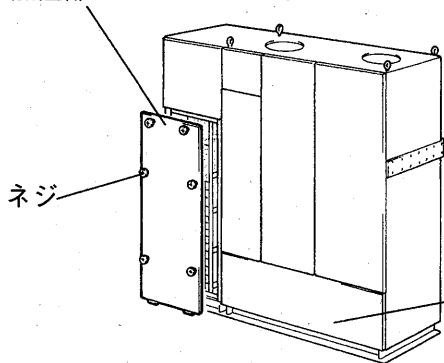
**加湿部メンテナンスパネルをはずし、加湿エレメント表面に漏水・目づまりがないか点検する。**

**漏水………加湿エレメントの交換が必要**

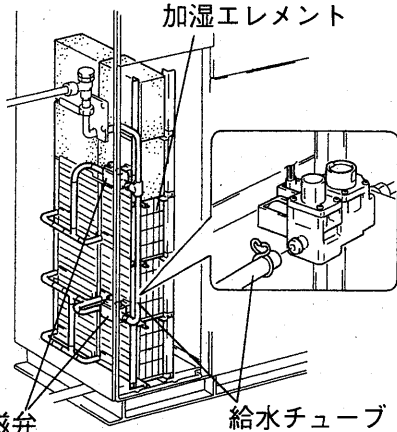
**目づまり…掃除機で清掃する**
**…水洗いする**

# 加湿エレメントの交換のしかた

## 1 加湿部メンテナンスパネルをはずす

※図はLB-150DF3を示す

●ネジをはずして、手前に引きはずす。

## 2 減圧電磁弁の給水チューブをはずす

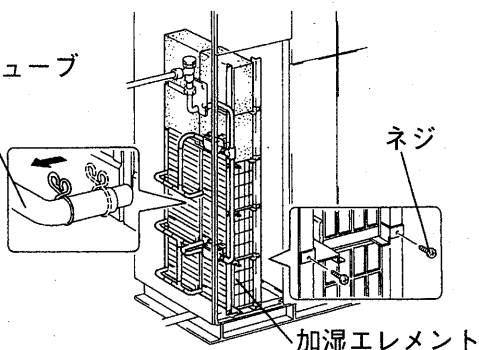
※図はLB-150DF3を示す

●減圧電磁弁から出る給水チューブを左図のようにはずす。

**減圧電磁弁の数量**

| LB-100タイプ | 1個 |
|---|---|
| LB-150タイプ | 3個 |
| LB-200タイプ | 4個 |

※加湿エレメント内に水が残っている場合は、その水が流出するので注意する。



## 3 加湿エレメントを引き出す

1. 手前の加湿エレメントに入る給水チューブをはずし、加湿エレメントを取り出す。
2. 奥の加湿エレメントも同様に給水チューブをはずしてから取り出す。

**LB-150・200タイプの場合**

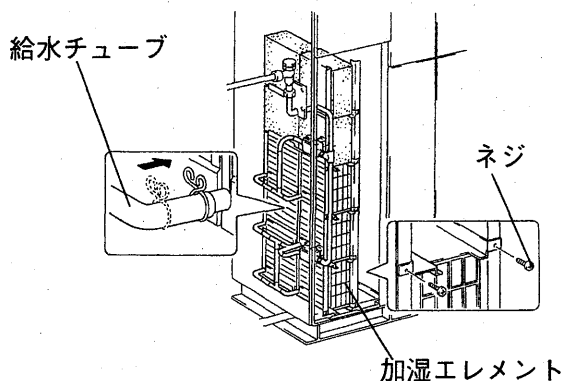
● 一番下の加湿エレメントを取りはずすときはネジ2本をはずす。

**加湿エレメント数量**

| LB-100タイプ | 1列 | 4個 |
|---|---|---|
| LB-150タイプ | 3列 | 5個 |
| LB-200タイプ | 4列 | 7個 |

**お願い**

● **給水チューブは、折り曲げ・引っ張りなどしないでください。**

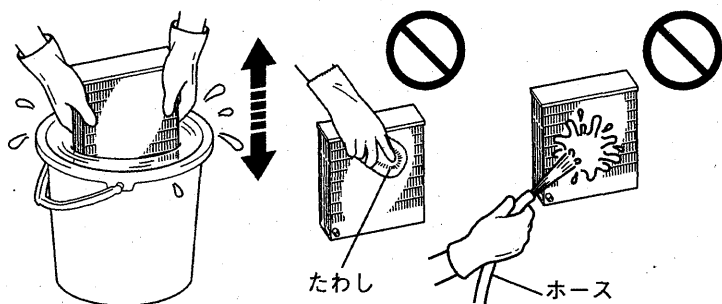
# 保守点検　　つづき

## 新しい加湿エレメントを取付ける

● 奥の加湿エレメントから順に、給水チューブを取付けながら入れる。

## 5 減圧電磁弁に給水チューブを取付ける

## 6 加湿部メンテナンスパネルを取付ける

● 取りはずしと逆の順序で行う。

## 加湿エレメントの水洗いのしかた

バケツなどに水を入れ加湿エレメントを4～5回揺らすように上下させて、ごみ・ほこりを洗い流す。

**お願い**

●たわしでこすることはしないでください。
●直接ホースで水をかけないでください。（加湿エレメントが破損します）
●40℃以上の湯や洗剤は使用しないでください。

## 点検後の確認

1.サービス弁を必要に応じて開けます。
　●夏期は加湿を必要としない場合が多いため、サービス弁を閉じておくことをおすすめします。
2.冬期(加湿時期)は凍結防止用ヒーターの工事がしてある場合はヒーターの電源が入っているか確認してください。
3.試運転を行い、水漏れがないことを確認してください。

# 「故障かな？」と思ったら

| 現　象 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| **運転しない** | ●リモコンの運転／停止ボタンが「停止」になっている（リモコン使用時） | ●「運転」にする |
| | ●空調機が運転していない | ● 空調機を運転する |
| | ●元電源が入っていない | ● 元電源を入れる |
| **換気しない** | ●エアフィルター・ロスナイエレメントが目づまりしている | ●「お手入れ」に従って清掃する |
| **停止しない** | ●空調機が運転している | ● 空調機の運転を停止する |
| **加湿しない** | **●給水されていない** | **●サービス弁を開く** |
| | ●リモコンの運転／停止ボタンが「停止」になっている（リモコン使用時） | ●「運転」にする |
| | ●空調機が暖房モードになっていない | ● 暖房モードにする |

**※上記の処置をしても改善されない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。**
**※リモコンを使用の場合、点検ナンバー表示が点滅している場合は、お知らせください。**

# アフターサービス

**アフターサービスはお買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。**

異音がする、風が出ないなど異常があれば電源を切って、お買上げの販売店へご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

### ■補修用性能部品の保有期間

当社はこの外気処理ユニットの補修用性能部品を製造打切り後9年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 加湿エレメントの交換時期について

**水道水内の不純物や混入物質が加湿エレメント内に堆積するため、加湿能力は徐々に低下します。**
- 使用過程において加湿量が少なくなった場合は、加湿エレメントの交換（お客さまご負担）を検討願います
- 交換時期については、運転状況・水質によって異なりますが、5年(5000時間)を目安としてください。

# 仕　様

| 形　名 | 電源 (V) | 周波数 (Hz) | 消費電力 (W) | 定格風量 (m³/h) | 温度交換効率 (%) | エンタルピ交換効率(%) | | 外気負荷熱処理能力(kw) | | 加湿量 (kg/h) | 騒音 (dB) | 質量 (kg) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 暖房時 | 冷房時 | 暖房時 | 冷房時 | | | |
| LB-100DF3-50<br>LB-100DF4-50 | 単相200 | 50 | 595 | 1000 | 79 | 68 | 62.5 | 11.59 | 10.36 | 5.08 | 38 | 245 |
| LB-100DF3-60<br>LB-100DF4-60 | 単相200 | 60 | 620 | 1000 | 79 | 68 | 62.5 | | | 5.08 | 38 | 245 |
| LB-150DF3-50<br>LB-150DF4-50 | 三相200 | 50 | 1320 | 1500 | 79 | 68 | 62.5 | 14.49 | 13.06 | 6.40 | 45 | 330 |
| LB-150DF3-60<br>LB-150DF4-60 | 三相200 | 60 | 1670 | 1500 | 79 | 68 | 62.5 | | | 6.40 | 45.5 | 330 |
| LB-200DF3-50<br>LB-200DF4-50 | 三相200 | 50 | 1610 | 2000 | 79 | 68 | 62.5 | 17.43 | 15.83 | 7.80 | 46 | 370 |
| LB-200DF3-60<br>LB-200DF4-60 | 三相200 | 60 | 2170 | 2000 | 79 | 68 | 62.5 | | | 7.80 | 46 | 370 |

※騒音値は本体正面中央前方1m・床上1mの値です。
※上記の値はロスナイ換気、強ノッチ時の場合を示す。(ただしLB-150・200タイプには強弱がありません)
※室内空気条件　冷房　乾球温度27℃　湿球温度19℃　　暖房　乾球温度20℃　湿球温度13.8℃
※外気空気条件　冷房　乾球温度35℃　湿球温度24℃　　暖房　乾球温度7℃　湿球温度6℃
※外気負荷熱処理能力および加湿量は上記空気条件時、定格風量時の値です。(100タイプは特強・強ノッチ定格風量時)
※上記のエンタルピ交換効率は、給気と排気の風量比や空気条件により変動します。
　詳細は、「三菱換気送風機総合カタログ」をご参照ください。

**この製品はフロン回収・破壊法　第一種特定製品　です。**

**この製品には冷媒として、HFCが使われています。**

(1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
(2) この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要です。
(3) フロン類の種類および数量は、室外ユニットの製品銘板に記載されています。

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。